

令和3年度 第1回 わくわく授業づくりワークショップ 『特別支援教育の視点×道徳科』

本日は、ご参加くださり、ありがとうございます。
お願い

- ①入室する際の名前に所属名を入力しておください。
(例)「香川県 附属坂出小学校 山本健太」
- ②マイクはOFFにしてください。
- ③飲食はご自由にどうぞ♪

※開始時刻(18:30)まで、しばらくお待ちください。

第1回 わくわく授業づくりワークショップ 香川大学教育学部附属坂出小学校

わくわく 授業づくりワークショップ

令和3年度(2021年度) 道徳科実践者ワークショップ 香川大学教育学部附属坂出小学校 附属特別支援教育センター 附属特別支援教育センター

●子供がときめく学びのつくり方を一緒に考えませんか●

【議題】本回開催する本校のワークショップでは、これまでたくさんの方と一緒に、子供が楽しく学ぶための授業づくりについて考えてきました。本報も、目にオンラインで、パソコンやスマートフォンで見ることが出来ます。

今年度のワークショップは身体習得を学習しています。具体的な内容は、開催の約2週間前にお知らせいたします。申込は、事務局にある専用メールから、Googleフォームにて参加いたします。開催日前日に「入室用IDとパスワード」をお知らせします。「Zoom」の使用方法などの詳細は、「オンライン(Zoom)研修会の申し込み」を参照してください(本校Webにも掲載しています)。

参加費無料 | Zoom活用 | 研修会参加費 | 研修会参加費 | 研修会参加費

香川大学 教育学部 附属 坂出小学校

Zoom ID: 888 888 888 | URL: https://www.zoom.us/j/888888888

QRコード: [QR Code]

本報と同日開催については、田園地域実践者ワークショップ 香川大学教育学部附属坂出小学校

※本報と同日開催については、田園地域実践者ワークショップ 香川大学教育学部附属坂出小学校

本日の内容

1. はじめに
2. 好井実践の紹介『黄色いベンチ』他
3. 西吉実践の紹介『銀の燭台』他
4. 山本実践の紹介『のりづけされた詩』他
5. 坂井校長先生から
～特別支援教育の視点から～
6. 授業をつくってみよう★

第1回 わくわく授業づくりワークショップ 香川大学教育学部附属坂出小学校

はじめに

少子高齢化
働き手が足りないの
で、外国人労働者を
受け入れますか？

出生前検査
生まれる前におな
かの赤ちゃんの状
態を調べますか？

職業選択
自分は何のために
生まれて、何をし
て生きていきますか？

第1回 わくわく授業づくりワークショップ 香川大学教育学部附属坂出小学校

はじめに

答えの無い問いに
応えていくこと。

それが人生

第1回 わくわく授業づくりワークショップ 香川大学教育学部附属坂出小学校

はじめに
なぜ道徳科が必要なのか

『世界に羽ばたく航平ノート』
新・みんなの道徳 小学校5年（学研）

第1回 わくわく授業づくりワークショップ 香川大学教育学部附属坂出小学校

道徳科の学習活動（見方・考え方）

第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、**①道徳的諸価値についての理解を基に、②自己を見つめ、③物事を（広い視野から）多面的・多角的に考え、④自己の生き方（人間としての生き方）についての考えを深める学習**を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

文部科学省、小学校学習指導要領、2017
※（ ）は中学校、番号と下線は引用者による

目標の構造的な捉え

道徳教育・道徳科で育てることを目指す
資質・能力

道徳性
—
道徳的な判断力、
心情、
実践意欲と態度

基盤となる

自立した人間として
他者と共に
よりよく生きる

(括弧内は中学校の目標)

H29年度道徳教育指導者養成研修ブロック説明会 行政説明配布資料より
(独立行政法人教職員支援機構・開催県教育委員会主催、文部科学省共催)

第2学年「黄色いベンチ」

～あらすじ～

雨上がりの公園で紙飛行機を飛ばす
たかしとてつお



黄色いベンチに何度も何度も上がって、紙飛行機を飛ばすことに夢中になり、2人は、ベンチを泥だらけにしてしまう。

その後、ブランコに乗って遊んでいる際、後から来てベンチに座った女の子の服が泥で汚れてしまった様子を見た二人は、はっとして、反省の念にかられる。

第1回 わくわく授業づくりワークショップ 香川大学教育学部附属坂出小学校

第2学年「黄色いベンチ」

C【規則の尊重】
学習のねらい

約束やきまりはみんなが気持ちよく安心して過ごすためにあるという理解を基に、公共物や公共の場所を使用する際に大切にしたい思いを互いに認め合いながら、約束やきまりについて、考えを深めていく。

そして、みんなが使う物や場所の約束やきまりをみんなのことを考えて守ろうとする意欲を高める。

第1回 わくわく授業づくりワークショップ 香川大学教育学部附属坂出小学校

第2学年「黄色いベンチ」

☹️ 自分の問題として捉えることが難しい



【実生活を想起】
具体的に想起させる視覚的支援

ぐちゃぐちゃ使いたくなくなるいやだな～

第2学年「黄色いベンチ」

☹️ 文章を読んで、場面の理解をすることが難しい

【読み聞かせる工夫】

- ・紙芝居風に
- ・挿絵を用いて人物の行動などを板書に整理しながら

第2学年「黄色いベンチ」

☹️言葉だけの説明は理解しにくい
☹️自分の気持ちをうまく言葉にできない



【心情円盤】
ブランコに「立つか」「立たないか」
自分の心を可視化→異同を明らかに

第2学年「黄色いベンチ」

☹️ブランコに立つことはよくないことだから、これからはしないと
思い込んでしまう

↑

【発問の工夫】
ブランコに立って乗るのは悪いことかな？

- ・問題を明らかに
- ・どうしてブランコに立たないようにしたいのか、行為の背景にある理由を大切にできるように

第1学年「さるきちくんのいたずら」

☹️気持ちを想像することが難しい

↑

【発問の工夫】
「さるきちくんは、どうして落書きをしてしまったのかな」
行動の理由を問うことで、答えやすく

+ 場面絵に着目させながら

第1学年「さるきちくんのいたずら」

☹️気持ちを想像することが難しい

↑

【役割演技】【問い返し】
教師はさるきちくん役として
子供からのメッセージを受け取る

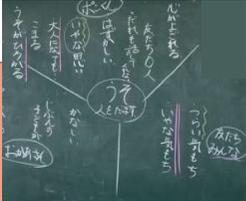
ちよつとぐらいいいでしょ
誰も見ていないよ

先生に怒られるよ
みんなに信じてもらえなくなるよ
みんなが困るよ

第2学年「子だぬきポン」

☹️ 自分の考えだけに固執してしまう

【板書の工夫】
Yチャートに板書
視点を変えながら
「嘘をつくこと」について
多面的・多角的に捉えられるように



第2学年「子だぬきポン」

☹️ 気持ちを想像することが難しい

☹️ 書くことが苦手

【役割演技】
嘘をついたポン君自身の
気持ちとそんなポン君
への気持ちを素直に表現
できるようにする。



第2学年「子だぬきポン」

☹️ 「嘘はいけない」と考え、嘘をついてしまったことのある自分を責めてしまう

【人間理解を促す発問の工夫】
ポン君はどうして嘘をついてしまったのかを考えた後に
「ポン君のこんな気持ちは分かる？」

第1回 わくわく授業づくりワークショップ 香川大学教育学部附属坂出小学校

第5学年「銀のしょく台」

～あらすじ～

数日前まで刑務所に入れられていたジャンは、目的地を目指して歩き続けていた。疲れきったジャンは何件も宿屋を訪ねたが、全て断られ途方にくれていた。そんなとき、ミリエル司教の家に泊めてもらうことができ、温かい食事やベッドまで用意してもらった。しかし、その晩、銀の食器を盗んだ。警察に連れ戻されたジャンに、「食器はあげたのだ」と嘘の証言をした。それどころか銀のしょく台まで手渡した。

第1回 わくわく授業づくりワークショップ 香川大学教育学部附属坂出小学校

第5学年「銀のしょく台」

B【相互理解，寛容】
学習のねらい

謙虚な心を持ち，自分と異なる立場を尊重することが大切であるという理解を基に，相手の過ちに対して広い心で関わりとはどういうことなのか，考えたことを伝え合う。その中で，相手を理解し，広い心で関わる大切さに気付かせ，自分の生活においても広い心で他者と関わろうと実践意欲を育てる。

第1回 わくわく授業づくりワークショップ 香川大学教育学部附属坂出小学校

第5学年「銀のしょく台」

☹️ 1回の読みでは、内容を理解することが難しく、読みに時間がかかる

↓

【読む時間の確保】
事前に家庭で教材を読む時間を設け，疑問や感想をもてるようにする。

第1回 わくわく授業づくりワークショップ 香川大学教育学部附属坂出小学校

第5学年「銀のしょく台」

事前読みでもった疑問や感想を集約して，めあてを設定する。

相手を許すには、どんな心が必要なのだろう

第1回 わくわく授業づくりワークショップ 香川大学教育学部附属坂出小学校

第5学年「銀のしょく台」

☹️ 自分の気持ちをうまく言葉にできない

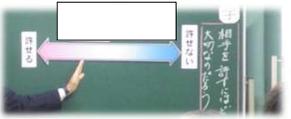
↓

【心メーター】
自分だったら許せるか，許せないか自分の心を可視化→異同を明らかに

第1回 わくわく授業づくりワークショップ 香川大学教育学部附属坂出小学校

第5学年「銀のしょく台」

多様な考えが視覚的に捉えられ、自分の考えとの異同が明らかになる



「どうして、その位置にしたの？」と友達に聞いたくなる→対話の意欲を高めることにつながる。

広い心について多面的・多角的に考える→多様な感じ方や考え方に接し、多様な価値観にふれる

第1回 わくわく授業づくりワークショップ 香川大学教育学部附属坂出小学校

第5学年「銀のしょく台」

😞たくさん書くことに抵抗がある



【振り返る観点の選択】
複数ある振り返りの観点の中から自分が書きやすいものを選択して書く。

これまでの自分はこれからの自分とは友達とすてきな考え

第1回 わくわく授業づくりワークショップ 香川大学教育学部附属坂出小学校

第5学年「銀のしょく台」

振り返りの観点「これからの自分」で、がんばりたいことを実行する自信度を問う。

「広い心」をもって、ちょっとしたことで怒ったり、友達の失敗を責めたりしないようにしたい。

どれくらい、自信がありますか？



大切なのは分かったけど、なかなか実現できない人間の弱さについても理解を深める。

第1回 わくわく授業づくりワークショップ 香川大学教育学部附属坂出小学校

第1学年「金のおの 銀のおの」

😞相手の気持ちを想像することが苦手




【役割演技】
実際に登場人物を演じることで、その時の状況や気持ちを体験する。

第1回 わくわく授業づくりワークショップ 香川大学教育学部附属坂出小学校

第1学年「金のおの 銀のおの」
インタビューで、気持ちを言葉にして表出する。

どうして、金のおのを選ぼうと思ったの？

これからずっと、金のおのを使っていくの？

ばれるかも…って心配な気持ちもあるんだね。

鉄のおのよりも、金のおのの方が得だから！

ばれたら、取られるかもしれないから金のおのは、家にしまっておくよ。

役割演技後、すぐにインタビューすることで、気持ちが表出しやすい。

第1回 わくわく授業づくりワークショップ 香川大学教育学部附属坂出小学校

第1学年「金のおの 銀のおの」

☹️相手の気持ちを想像することが苦手

イラストカード

【気持ちカードの提示】
目に見えにくい気持ちをイラストを使って、視覚的に捉えられるようにする。

第1回 わくわく授業づくりワークショップ 香川大学教育学部附属坂出小学校

第1学年「金のおの 銀のおの」

☹️複数のことを同時に処理することが苦手

【時系列で振り返る】
授業の流れに沿って、「これまでの自分」→「これからの自分がんばりたいこと」

第1回 わくわく授業づくりワークショップ 香川大学教育学部附属坂出小学校

第6学年「のりづけされた詩」
～あらすじ～

学級文集をつくることになり、詩をつくるのが得意な和枝は、仲良しの光子と詩をのせる約束をした。なかなか詩が思いつかず、不安になった和枝は、自分が書こうとしている内容にぴったり合う詩を見つけ、焦りからその詩の一部を写してしまう。光子から褒められ、和枝は胸がしめつけられる思いをし、悩む。しかし、和枝は先生に打ち明け、先生と共に完成した文集に1枚1枚別の詩をのりづけしていった。

第6学年「のりづけされた詩」

A【正直，誠実】
学習のねらい

和枝が正直に打ち明けられた時の気持ちを考えるとともに、誠実に行動しようとする際に必要な気持ちについて対話することを通して、正直、誠実の価値を多面的・多角的に理解し、誠実に、明るい心で生活しようとする意欲を高める。

第6学年「のりづけされた詩」

☹️ 道徳的問題場面と，自分自身の経験とが結び付きにくい

↑

【事前アンケートの提示】
[正直，誠実]の内容項目に関連するアンケートを事前にとり，結果を示すことで教材と自分をつなぐ

第6学年「のりづけされた詩」

事前アンケート「嘘をついてしまったり，正直に言えなかったりして，心の中がもやもやしてしまった経験」を提示し，教材と自分をつなぐ。

「正直にできた経験」 ↓ 「正直にできなかった経験」

すっきり経験



物を壊してしまった時に，正直に謝ることができた。12人
悪いことをしてしまった時に，正直に打ち明けることができた。6人
借りていたものを黙っていたけど，打ち明けることができた。5人
けんかをした時に，素直にごめんと言えた。4人
怪我をしてしまっていることを，かくさずに正直に言えた。1人

もやもや経験



悪いことをしてしまった時に，正直に言えなかった。18人
自分がやったのに，人のせいにしてしまった。6人
勉強が終わっていないのに，終わったと言ってしまった。2人
自分が行きたいところがあるのに，正直に言えなかった。1人
自分は悪くないのに，責められたことを言い返せなかった。1人

香川大学教育学部附属坂出小学校 102回 教育研究発表会

第6学年「のりづけされた詩」

☹️ 心の葛藤場面を想像しにくい。

↑



【心の綱引き】
綱引きに置き換えることで，誠実に行動する際の気持ちを表出しやすくする。

鳥の目タイム

誠実

打ち明ける

A: 信頼

もし、ばれたら、友達の信頼を失つ友達を裏切りたくない

B: ほこり

作詞、ライト得意なことを失いたくない

C: 素直さ

失敗を素直に認めて、あやまる気持ち、正しいことしたい

いじのつなひき

不安

かっこいい詩をつくりたい、なかなか詩が思いつかない、ほめられればほめられるほど、自分の力でやってみよう

罪悪感

第6学年「のりづけされた詩」

☹️ 考えを話して伝えるのが難しい

【筆談で対話する】
考える時間を確保し、対話の足跡を残す

第6学年「のりづけされた詩」

自分の考えに近いものを選択して書き込みます。対話が記述して残すことで友達の考えを振り返ることができる

〇〇さんの考え	〇〇さんの考え
D: 信頼	B: 素直さ
もし、他人の詩だとしたら、友達からの信頼がなくなってしまうからだよ。	(どうして信頼が大切な?)
(素直さだと思ったのはなぜ?)	この重苦しい気持ちを抱えたまま、大人になリたくないからだよ。
正直に言ったから、信頼は変わらない。	(実際にどういう経験ある?)
(素直になれずにもやもやしていることは?)

香川大学教育学部附属坂出小学校 102回 教育研究発表会

心を育てるツール

UDの働きかけ

目には見えない心の中を視覚化し、他者の考えとの共通点・相違点に気づきやすくする。

授業をつくってみよう

3 ねらいに深く関わる中心的な発問(中心発問)を考える

- 中心発問
 - 中心発問に対して予想される児童生徒の反応(3名, 子どもの言葉で思い浮かべよう)
 - A
 - B
 - C
- ?その予想される発言の中で, ねらいに関わる言葉や考えは・・・
?クラス全体に共有したい, 確認したいような言葉や考えは・・・

香川大学教育学部附属坂出小学校 道徳科

授業をつくってみよう

○中心発問の前後を考える。(基本発問補助発問)
子どもの発言を受けて, より深めたい際には, ゆさぶりや
問い返したい発問を考えておく

基本発問

問い返し

香川大学教育学部附属坂出小学校 道徳科

体験的な学習 役割演技

- ・役割演技は, Lモレノが考案した心理療法
としての心理劇から派生
- ・心理劇では, 自発性や創造性を大切にする
- ・シナリオどおりにうまく演じることが目的で
はない

林泰成(2017), 道徳的行為に関する体験的な学習を「考え, 議論する道徳」で
どのように行うか, 「考え, 議論する道徳」を実現する!, 図書文化, pp102-103

香川大学教育学部附属坂出小学校 道徳科

役割演技 2つのタイプ

- ① 資料に描かれているとおりに演じる
 - ・登場人物の気持ちを, 頭ではなく, 心と体で理解する
 - ・演技の途中で役割交換をして, 相手の立場に立たせる
- ② 資料の一場面でその後を削除して, あとは自由に演じさせる
 - ・即興性や創造性が発揮され, オリジナルの心理劇に近い
 - ・教師が訓練を受けていないと, 授業展開をうまくまとめられない
 - ・「いじめの役割演技」の危険性 いじめられる役を教師が行う工夫

林泰成(2017), 道徳的行為に関する体験的な学習を「考え, 議論する道徳」で
どのように行うか, 「考え, 議論する道徳」を実現する!, 図書文化, pp102-103

香川大学教育学部附属坂出小学校 道徳科

★アンケートのお願い★



みなさんの声をお聞かせください♪

第1回 わくわく授業づくりワークショップ 香川大学教育学部附属嵐出小学校